

2005年3月4日

県民の政治意識

第20回モニター調査

報告書

(2005年2月25日～28日調査)

調査の設計	1
政党支持～10年の軌跡	4
今回の概要	8
単純集計	11
質問票	15



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

長野県世論調査協会の「県民の政治意識～モニター調査」が 1995 年夏の参院選調査を基点にスタートして 10 年、通算 20 回の節目に到達した。

この 10 年間は、政党の再編成がめまぐるしく行われ、民主党は新進党 太陽党 民政党などが発展的に順次合流、さらに自由党が加わって現在の組織となり、自民党には保守党（保守新党）が組み入れられ“二大政党政治”の構図になった。

内閣は当初の村山内閣から現在の小泉内閣まで 5 代を数え、自民党を核にした連立の組み合わせも変遷を重ねた。間もなく在任 4 年になる小泉首相の登場は、戦後体制の改編を全面に掲げた構造改革と、それに伴う手法の新しさ、厳しさが政党政治、代議制のあり方そのものの見直しを迫った。

経済の面では、バブル破綻から景気低迷が長く続き、不良債権処理などに呻吟し、ようやく上昇機運に転じたものの、企業間や個人間の格差が新たな懸念にのぼっている。

長野県政では、田中知事による改革路線が国政よりも先行し、戦後長く続いた“副知事継承県政”からの脱皮を迫り、県民の政治意識に多くの刺激を与えた。

さらに、9.11 の米国中枢同時テロからイラク攻撃へと、国際的な安全秩序は深い亀裂が刻み込まれ、日本は自衛隊のイラク派遣により、直接的にその渦中に置かれることになった。北朝鮮の拉致被害者救済と核放棄の方途が行き詰まりをみせ、小泉首相の靖国参拝問題による中国との“政冷経熱”も座視できなくなった。

こうした内外の政治的環境が厳しさを増すなかで、県民は政治をどのように見つめ、期待感を持っているのか、協会モニターを通じて更なる点検を続ける。

調査の設計

調査方法

当協会の登録モニターに事前に調査票を郵送し、回答は電話の聞き取りを主にファクス、郵送、インターネットを併用して回収。

【モニター～継続的な調査対象者】

1995 年 6 月の参院選直前、県下の満 20 歳以上の 1000 人を対象に、政治意識調査を実施。その際、追跡調査に協力できるという人たち 678 人を対象に、選挙直後の同年 7 月に「参院選の投票行動」調査を行った。

これを「第 1 回モニター調査」と位置付け、それ以降は男女別、年代別、選挙区別などの比率が“県下の有権者の縮図”となるようにサンプル対象者を選定して、96 年 2 月に第 2 回調査を行い、それ以降は半年間隔で年 2 回ずつ、定期的に続行している。この間、モニターは若干補正し、現在の登録数は 500 人。

調査時期

2005 年 2 月 25 日～28 日

有効回収数（率）

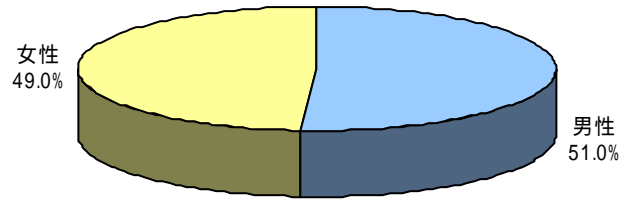
479 人（回収率 95.8% = 男性 245 人 女性 234 人）

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

登録モニターの構成

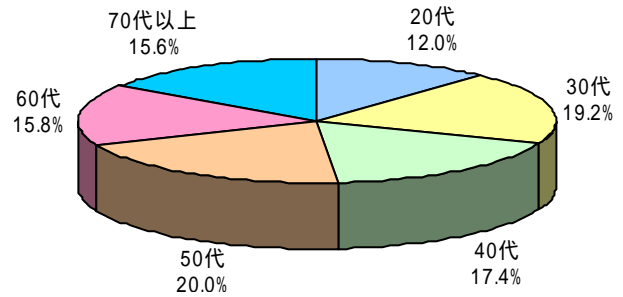
【性別】

男性	255	51.0%
女性	245	49.0%



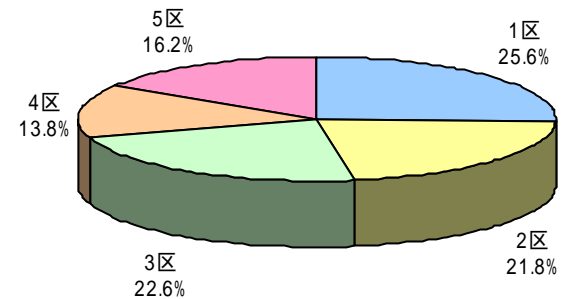
【年代】

20代	60	12.0%
30代	96	19.2%
40代	87	17.4%
50代	100	20.0%
60代	79	15.8%
70代以上	78	15.6%

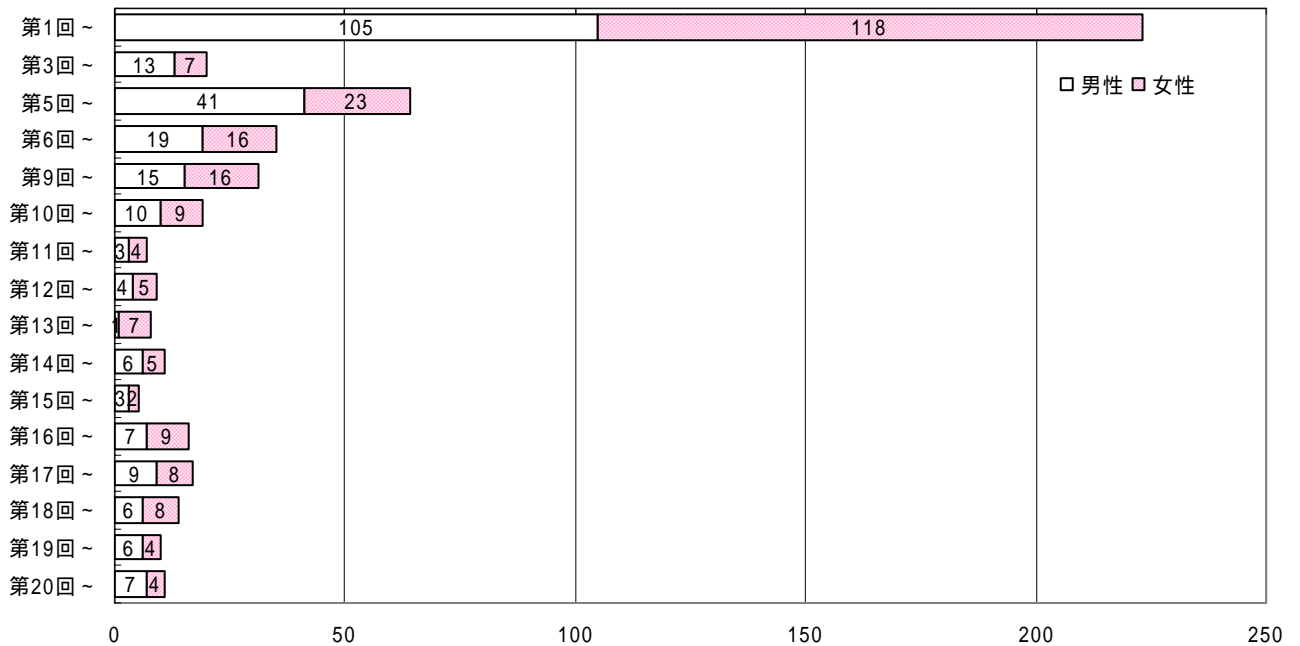


【選挙区】

1区	128	25.6%
2区	109	21.8%
3区	113	22.6%
4区	69	13.8%
5区	81	16.2%



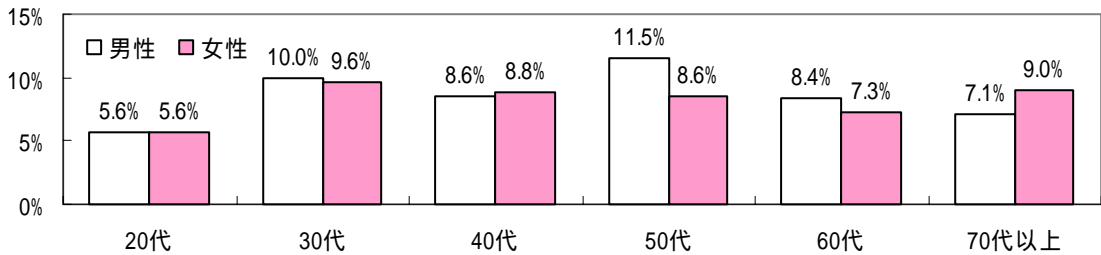
モニターの補充登録



回収サンプルの内訳

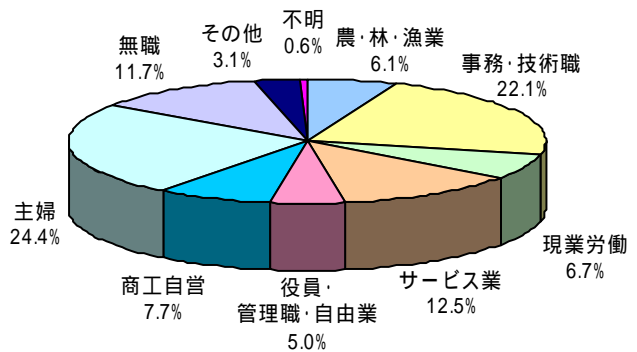
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	479	54	94	83	96	75	77
	100.0%	11.3%	19.6%	17.3%	20.0%	15.7%	16.1%
男性	245	27	48	41	55	40	34
	51.1%	5.6%	10.0%	8.6%	11.5%	8.4%	7.1%
女性	234	27	46	42	41	35	43
	48.9%	5.6%	9.6%	8.8%	8.6%	7.3%	9.0%



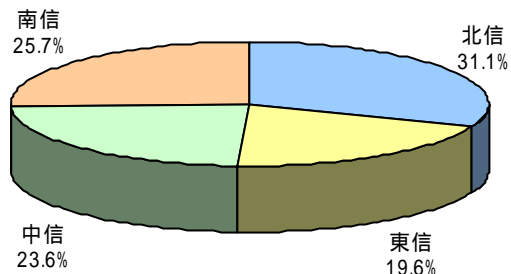
【職業】

農・林・漁業	29	6.1%
事務・技術職	106	22.1%
現業労働	32	6.7%
サービス業	60	12.5%
役員・管理職・自由業	24	5.0%
商工自営	37	7.7%
主婦	117	24.4%
無職	56	11.7%
その他	15	3.1%
不明	3	0.6%



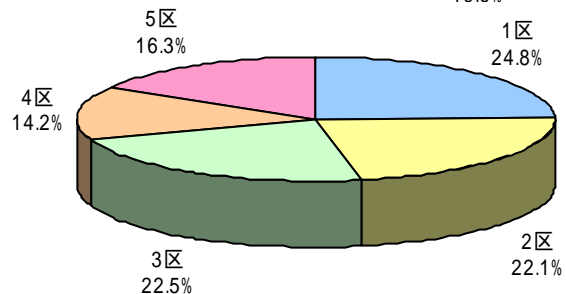
【地域】

北信	149	31.1%
東信	94	19.6%
中信	113	23.6%
南信	123	25.7%



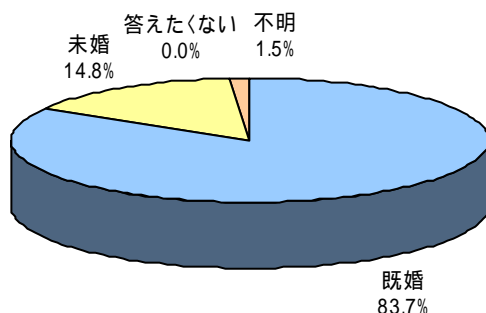
【選挙区】

1区	119	24.8%
2区	106	22.1%
3区	108	22.5%
4区	68	14.2%
5区	78	16.3%



【結婚の有無】

既婚	401	83.7%
未婚	71	14.8%
答えたくない	0	0.0%
不明	7	1.5%



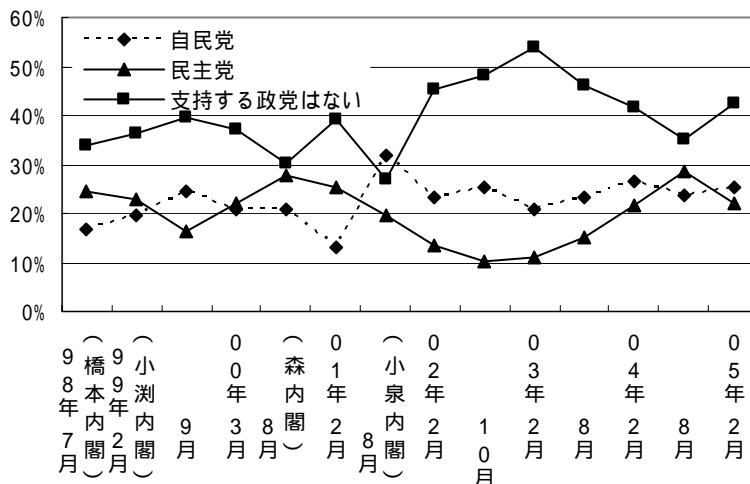
政党支持～調査10年の軌跡

トップ争い～自民党と民主党が逆転の応酬

今回の第20回調査では、自民党が25.5%でトップ。小泉内閣が登場して以来、ずっと支持率で民主党より優位にあった自民党は前回、逆転されて“二大政党政治”の色合いを濃くしたが、早々にトップの座を奪回した。

民主党は21.9%で僅差を保ち、3位は大きく水をあけられて公明党。それに共産党、社民党が続く順位は従来と変わらない。その一方で「支持する政党はない」が42.4%と増えて、自民党を大きく上回る。

【政党支持の推移】



	第7回 98年7月 (橋本内閣)	第8回 99年2月 (小淵内閣)	第9回 99年9月 (小淵内閣)	第10回 00年3月 (小淵内閣)	第11回 00年8月 (森内閣)	第12回 01年2月 (森内閣)	第13回 01年8月 (小泉内閣)	第14回 02年2月 (小泉内閣)	第15回 02年10月 (小泉内閣)	第16回 03年2月 (小泉内閣)	第17回 03年8月 (小泉内閣)	第18回 04年2月 (小泉内閣)	第19回 04年8月 (小泉内閣)	第20回 05年2月 (小泉内閣)
自民党	16.7%	19.7%	24.4%	21.0%	20.8%	31.7%	23.3%	25.2%	20.8%	23.2%	26.7%	23.6%	23.6%	25.5%
民主党	24.5%	23.0%	16.3%	22.2%	27.7%	25.2%	19.4%	13.3%	10.3%	11.0%	15.3%	21.5%	28.7%	21.9%
支持する政党はない	33.9%	36.5%	39.6%	37.3%	30.4%	39.2%	27.1%	45.5%	48.3%	53.8%	46.2%	41.6%	35.1%	42.4%

民主党が現在の組織にまとまった後の1998年7月調査から6年半の自民、民主両党と無党派層の流れを中心にみると、14回行った調査で、自民党が優位だったのが8回に対して、民主党は6回。それぞれ相手を逆転したのは自民党が3回、民主党は2回とほぼ互角で迫り、めまぐるしく厳しい攻防のあとがみられる。

攻防は小泉首相の登場を境に大別され、前半は民主党の攻勢、後半は自民党の優位がめだつ。両党が最も接近したのは2000年3月の民主党22.2%、自民党21.0%の1.2ポイント差。最も差が開いたのは2002年10月の自民党25.2%、民主党10.3%の14.9ポイント差となっている。

政局との関わり～小泉首相の動向が大きく左右

政党別に支持率の高低をみると、自民党の最高が2001年8月の31.7%。最低は2001年2月の13.0%。

この支持率の高低と政局との関わりをみると、自民党のピークは小泉首相がの登場4カ月で参院選に勝利したとき。その勢いに押されて、無党派層が急落して、自民党を下回る珍しい現象も生じた。

最低だったのはその直前、森首相が失言や党内スキャンダルなどで、日本のリーダーとしての資質を

< 調査時期と政局 >

調査時期	内閣	
98年7月	橋本	新「民主党」参院選勝利
99年2月	小淵	「自民党・自由党」連立
99年9月		「自民党・自由党・公明党」連立 閣僚辞任、警察不祥事相次ぐ
00年3月	森	「自民党・公明党・保守党」連立
00年8月		“宰相の資質”で退陣へ
01年2月	小泉	小泉内閣4ヵ月、参院選で勝利
01年8月		9.11テロ、田中外交更迭
02年2月		首相訪朝、5人帰国
02年10月		米国のイラク攻撃
03年2月	小泉	民主党・自由党合併に合意
03年8月		自衛隊のイラク派遣
04年2月		参院選で民主党追い上げ

問われ、退陣確定的という時期にあたる。

民主党では支持率の最高が2004年8月の28.7%。最低は2002年10月の10.3%。ピーク時の2004年夏は、参院選で政権公約、いわゆるマニフェストを掲げて自民党に迫り、本格的な「二代政党政治」に道を開いたとき。

支持率が最低になったのは、小泉首相が北朝鮮を訪問して、拉致被害者の5人が帰国した“サプライズ外交”のあおりをまともに受けたときにあたる。

支持政党なし層ではピークが2003年2月の53.8%。最も低くなったのは2001年8月の27.1%。

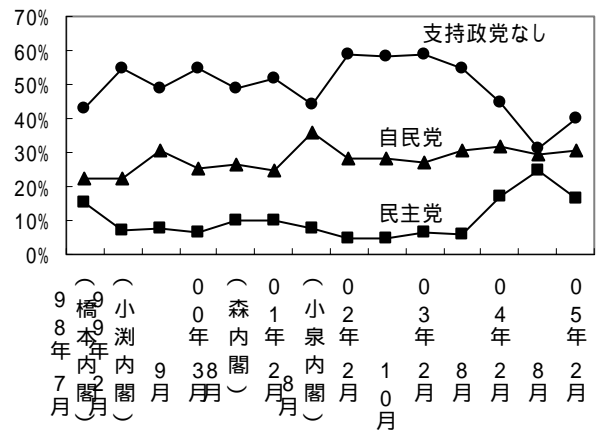
ピークは、アメリカが大量破壊兵器の存在が不確かなまま、イラク攻撃に踏み切り、小泉首相がそれに追随した時期。また、小泉改革が行き詰まりを示したこともあり、政治に対する期待感が後退したことも「支持なし」が増えた要因に挙げられる。

長野県の独自性～民主党支持層の底堅さ

めまぐるしい政党支持層の流動ぶりは、かなり長野県独自の傾向で、全国的な流れと大きく異なる。例えば、NHKが毎月行っている政治意識調査と比較してみると一目瞭然だ。もちろん、支持率の大きな流れは、同じような経過をたどってはいるものの、全国では民主党に対する自民党の優位が一度も揺らいだことはない。さらに、無党派層が一貫して両党を上回っていることも、長野県の状況とは違う。

長野県と全国との違いの背景としては、まず第1に、自民党の分裂で羽田孜氏らが新生党を率いた当初からの民主党基盤の底堅さが挙げられる。現在の県関係の国会議員の数でも、衆参合わせて自民党7人、民主党6人と互角となっている。加えて、戦後の長野県政界の一方を担った「信州社会党」の流れを組み入れた面も無視できない。

全国的な政党支持の推移



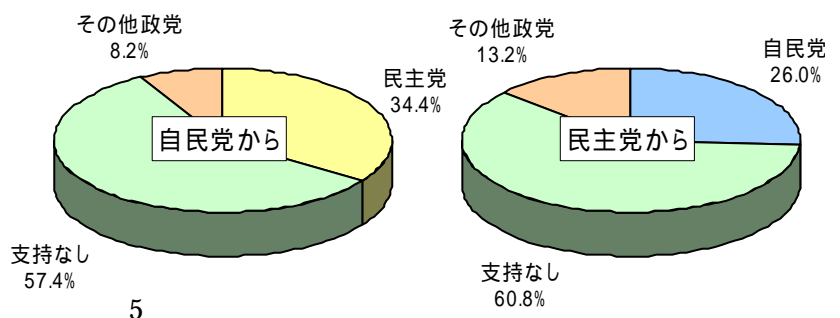
< NHK放送文化研究所調査データから抜粋 >

変えた支持どこへ～無党派層から民主党へ51%

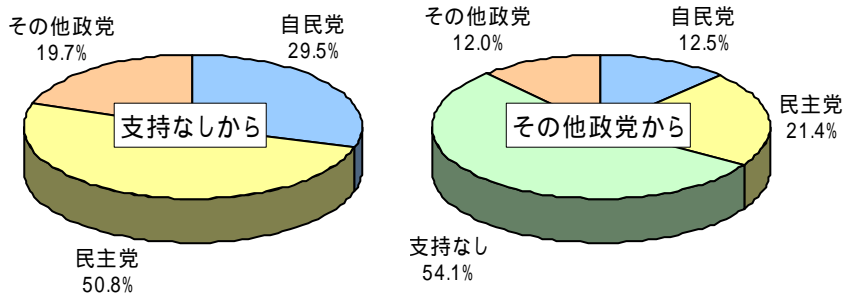
それでは政党支持が変わっていく方向はどのようなだろうか。

今回調査で、1年前の支持政党を変えたのは14%。変えていないのは75%。また、過去5年間くらいでは、変更が「0～1回」が76%、「2～3回」23%、「4回以上」は1%余。

この10年間、20回の全調査を通じて、まず、支持が変わった回数は、多い方から無党派層、民主党、自民党の順になる(民主党と合流する前の民政党、新党さきがけ、新党友愛、民主改革連合、自由党は民主党に一括して算出)。



支持を変えた場合、どこの政党へ流れたか、各党別に追跡すると、まず自民党から無党派層へ 57%、民主党へは 34%。民主党からは無党派層へ 61%、自民党へ 26%。支持政党なし層から民主党へ 51%、自民党へ 30%といった色分けになる。



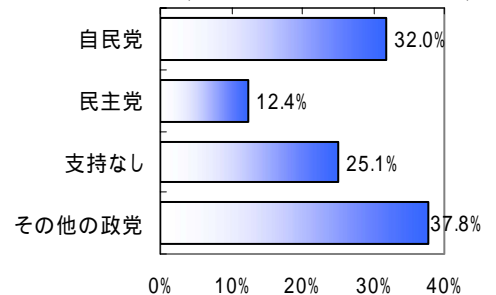
一番の特徴は、自民、民主両党とも、無党派層との出入りがめだつ点。いわば、両党は無党派層をはさんで勢力争いをしている構図がよくみえる。また、公明、共産、社民などのその他の政党も、無党派層への流出度合いが高くなっている。

支持固定層 ~ 自民党 32% 民主党 12%

支持が移っていく方向とは逆に、支持が変わらない固定層はどうか。

モニター調査が始まってから 10 年間の中で、同じ政党を一貫して支持している固定層をみると、一番多くを占めるのは其他政党の 38%、次に自民党の 32%、支持政党なし層の 25%が続き、最低は民主党の 12%。

各党支持に占める固定層の比較
(1995年7月～2005年2月)

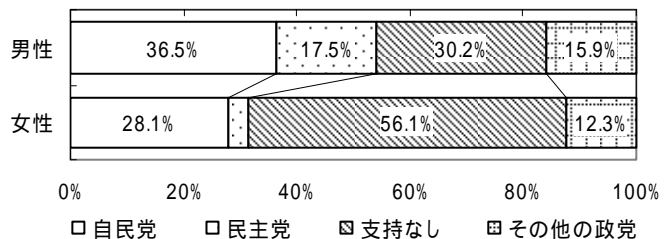


まず、自民党と民主党の違いが注目され、自民党でおよそ 3 分の 1 は固定支持層になっているのと対照的に、民主党はかなり落ち込んでいて、長く政権の座にあった自民党の底堅さと、寄り合い世帯の民主党の不安定さのコントラストが際立つ。

支持政党なし層は、ほぼ 4 分の 1 は無党派のまま動かない。逆にいえば 4 分の 3 は流動部分であり、それが自民党へ流れるのが 30%。それと対照的に、民主党へは半数に達する。この“親密ぶり”のあたりに、今後の政党支持の変動を占うヒントが見え隠れする。

政党支持の固定層を男女別にみると、男性モニター全体の 26% を占め、女性では 24% と違いはほとんどみられない。しかし、固定層に占める政党の内訳では、その中身はまったく違う。自民党が占める割合は男性 37% 女性 28%、民主党で男性 18% 女性 56%、支持政党なしは男性 30% 女性 12.3% といった状況だ。

固定支持層の政党内訳 ~ 性別では



女性が民主党と疎遠で、無党派層が多いという傾向がこの面でも裏付けられている。

支持政党の評価する点 ~ 「政策の現実性」トップ不変

こうした支持率の変動の背景として、どんな点が政党評価のポイントになっているのか、この 6 年半の推移をみると「政策の現実性」がほとんどトップを独占。上位の内容に変動

はないが、今回は2位に「安定感・頼りがい」が浮上し「長期的な視点」と入れ替わった。

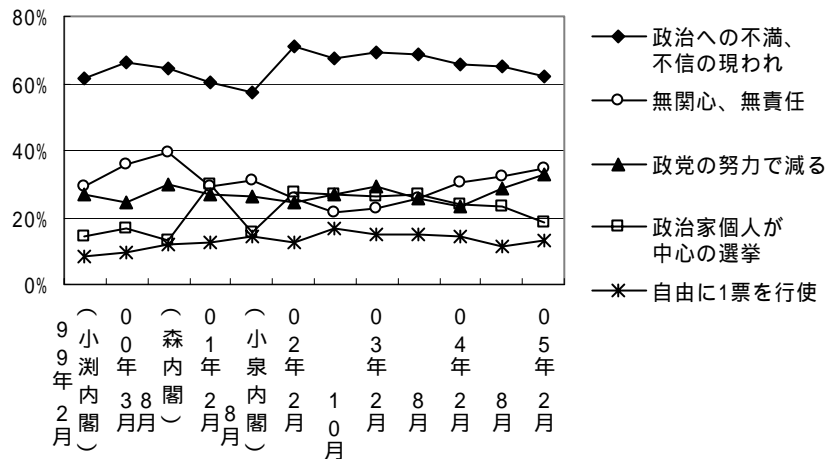
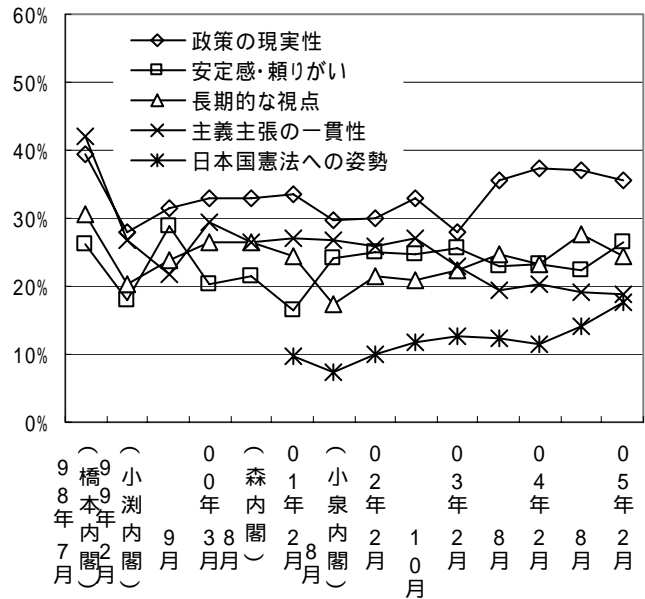
あらためて、政党にとって「政策が実現可能かどうか」「将来へのビジョンが描けているか」がいかに重要視されているか鮮明にされた。

上位3つとも、自民党の支持層の期待感が民主党の支持層を上回り、とくに「安定感・頼りがい」が自民党のトップにランクされる。民主党の支持層ではぐんと落ち込んでおり、この辺りにも老練・自民党と新鋭・民主党の違いが浮き彫りにされている。

一方、無党派層に対する評価では「政治への不満、不信の現れ」が一貫して断然トップ。2番目に「政治に対する無関心、無責任」が入り、最近では3位の「政党の努力しだいで減る」ともども伸びている。

無党派層は、政治に対する「逃避的な無関心層」と「積極的な不満層」が同居していることが指摘されるなかで、政治に対する不満足度が恒常的に80%を超す実情であり、無党派層に対する世論の反応も「不満層」の肩を持つ傾向が根強い。

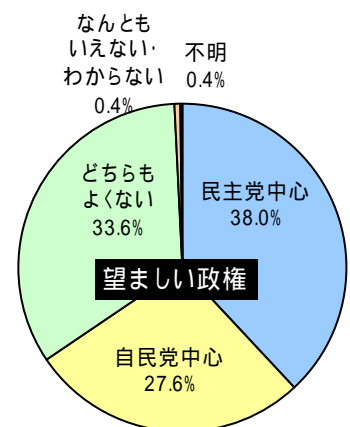
「政党の努力しだいで減る」という評価が3番目になっているのは、そうした不満に政党がどう応えていくか、世論は見守っているといった意味合いが読み取れる。



今後のポイント～どう動く女性、若者と無党派層

通算20回のモニター調査の積み重ねを足場に、今後のポイントは、なんといっても「二大政党対決」のゆくえにある。望ましい政権を聞いた質問では、今回は民主党38%、自民党は28%というデータがある。支持率では逆転されたものの、政権の見通しで優位を保つ民主党の強さがホンモノかどうか正念場である。

もうひとつは、女性と若い年代の動向だ。この2つの層は、選挙を大きく左右する無党派層の主力を占めているが、民主党は全国的にもこの層への浸透がいまひとつ。しかしながら、民主党と無党派層とのかかわりが最も強いだけに、今後の動向が注目される。



今回の概要

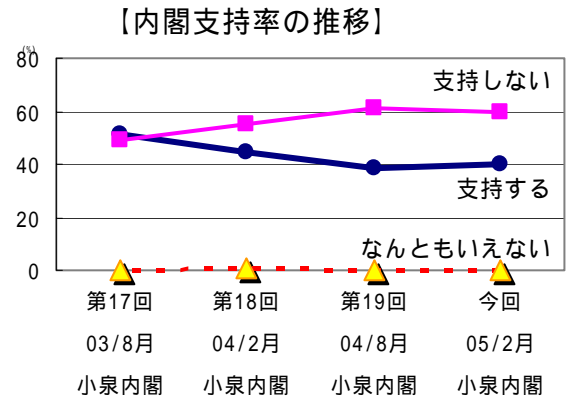
小泉内閣に対する評価

“小泉離れ”ひと休止 - 支持率40%台回復

今の国政に「不満足」がいぜん80%台の高水準のなか、与党の自民支持層でも過半数のまま。小泉内閣を「支持する」がわずかに上昇して40.3%。「支持しない」は59.5%。不支持が優位の差が広がってきていた“小泉離れ”はひと休みの様相になった。

年代層のうち支持が上回るのは70代以上（以下「70代」と略記）のみ。40代で支持31.3% 不支持68.7%の37ポイント差がもっとも著しい。

政党支持層で自民党の支持86.1% 民主党の不支持89.5%と“二大政党対決”の構図がはっきり反映され、無党派層では不支持が70%台で、平均値を大きく上回る。



	全体	性別		年代別			選挙区					政党支持層		
		男性	女性	20代	40代	60代	1区	2区	3区	4区	5区	自民党	民主党	支持政党なし
支持	40.3%	38.8%	41.9%	37.0%	31.3%	40.0%	43.7%	40.6%	38.0%	35.3%	42.3%	86.1%	10.5%	27.6%
不支持	59.5%	60.8%	58.1%	63.0%	68.7%	60.0%	56.3%	59.4%	62.0%	64.7%	56.4%	13.9%	89.5%	72.4%

支持理由「他にいない」加速 不支持では「政策に期待できず」

支持の理由では、トップの「ほかに適当な人がいないから」が再び増勢に転じ65%に到達。

不支持の理由では「政策に期待できないから」が70%台の高水準のまま。「政治姿勢が好ましくないから」がさらに伸びた。

自民党支持層の支持理由で「他にいない」が大幅に加速されて最も多く、不支持では「政治姿勢」がいぜんトップから動かない。

小泉首相の在任「続行を」46% 「続行いや」53%

来年秋の任期までの小泉首相の在任について「続けてほしい」が46%。「続けてほしくない」は53%。自民党支持層でも任期全うを望まない声が2割近くを示す。

「首相に必要な能力、資質」でみると「国民への説明能力」が減少したもののトップは変わらず。全体の順位は不変だが、2位の「リーダーシップ」が大幅に伸びた。

政策の取りくみ評価

福祉・年金改革「評価する」21% 郵政民営化と憲法見直しは拮抗

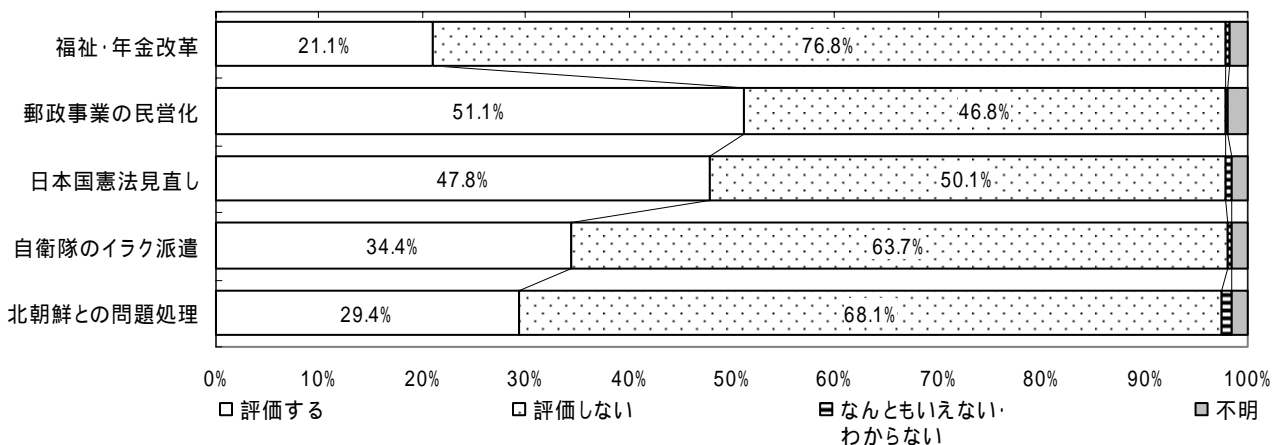
国政の重点課題では、トップの「景気・雇用」、続く「行政・財政」は若干の変動で、順位は替わらないが、3位に「教育」が浮上してきた。次いで「福祉・医療」「安全保障・外交」と続く。

懸案の取り組みには「評価する」が半数をクリアしたのは「郵政民営化」の51%。しかし「評価しない」も47%と肉薄する。「日本国憲法の見直し」でも、否定的な受けとめが半数に達したが「評価する」が伸びて48%と伯仲状態。

「福祉・年金改革」には「評価する」が20%余と厳しい。「自衛隊のイラク派遣」に肯定的な感度は30%台で横ばいだが「北朝鮮との（拉致、核などの）問題処理」には「評価しない」が大幅に増えて70%に迫る。

こうした政策の取り組みに際して、小泉首相が説明責任を「果たしていない」が「政治資金問題」で90%近くにのぼるなど、軒並み不満が示されていることが、厳しい評価につながっているようだ。

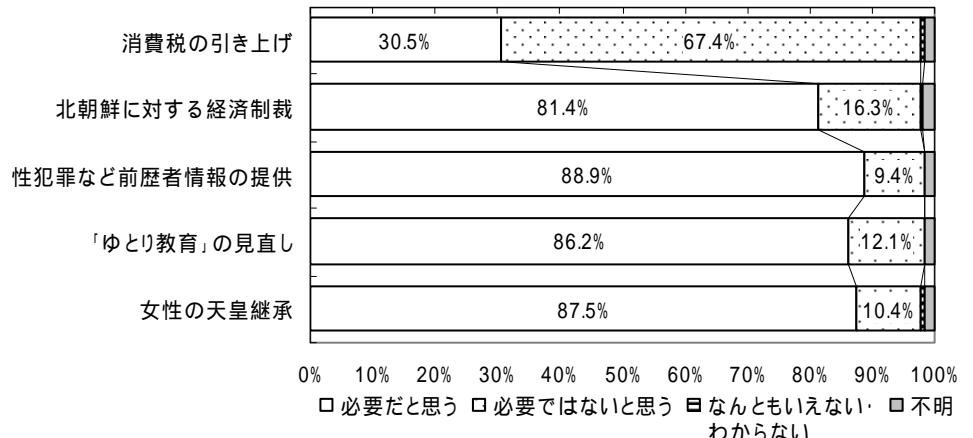
【小泉内閣の懸案の取りくみ】



教育見直し、制裁「必要」80%超 消費税上げに「不必要」67%

今後の国政の課題について「性犯罪など前歴者情報の提供」に「必要だと思う」が89%を筆頭に「女性の天皇継承」「北朝鮮に対する経済制裁」「ゆとり教育の見直し」のいずれにも80%台の賛意を示す。【今後の国政の課題】

対照的に「消費税の引き上げ」の是認は31%にとどまり、拒否的な受けとめはその2倍以上にのぼっている。



無党派層の受けとめ

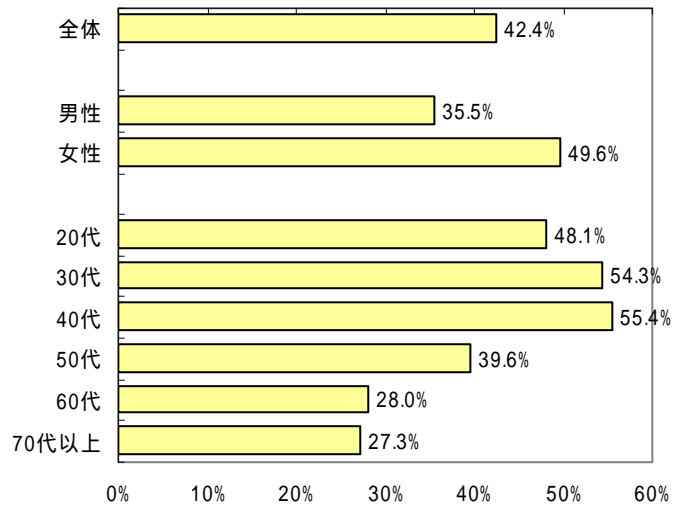
女性で半数、30～40代で急伸

民主党支持層の落ち込み分を吸収するかたちで、支持政党なし層が40%台に戻し、政党支持層をはるかに上回る実質トップが続く。

男性の36%に対して、女性は50%に達する開きが際立つ。年代層では30～40代で55%前後に突出する。小泉内閣の不支持層でも半数を超える。

支持政党なし層が親近感を持つのは「民主党」がトップで40%近い高率は変わらず、2位の自民党はいぜん10%に届かない。

無党派層の割合～性別・年代別でみると



今後の政権選択「自民・民主どちらもよくない」57%

いま衆院選があるとすれば、無党派層が伸びてほしいと望むのは「民主党」が45%、「自民党」は4%余といった、大きな開きがみられ「伸ばしてほしい政党はない」が35%にのぼる。同様に、今後の望ましい政権では「民主党中心」33%と「自民党中心」9%余の大きな違いはあるものの「どちらもよくない」が57%を占め“二大政党対決”の政権択一には、やや距離をおくスタンスがみられる。さらに、政治の再編成の期待感はやや平均値を下回る。

小泉内閣の政策の取り組みに対する無党派層の評価は、全般的に低めで「福祉・年金改革」と「憲法見直し」「自衛隊のイラク派遣」には、平均値をかなり下回る厳しさがみられる。また、各政策についての小泉首相の説明責任が「果たされていない」という不満が根強い。

無党派層に対する評価

	標本数	不政治の・現政権への不満	無責任に対して無関心	減政党の努力次第で	選挙が個人に中心にある	自由にいる1票を行使	下棄権が多く投票率を	政治を不安定に	政治に関心の高い	選挙での波乱要素に
支持政党										
自民党	122	46.7	50.8	31.1	10.7	6.6	16.4	20.5	2.5	2.5
民主党	105	51.4	41.9	30.5	25.7	10.5	11.4	10.5	9.5	3.8
公明党	24	58.3	37.5	41.7	16.7	8.3	16.7	4.2	-	4.2
共産党	15	40.0	46.7	26.7	20.0	6.7	20.0	26.7	6.7	-
社民党	5	80.0	60.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-
支持する政党はない	203	78.8	19.2	34.5	19.7	19.7	6.4	3.9	7.9	3.0

単純集計

問1 あなたは、今の政治に満足していますか	全体	男性	女性
大いに満足	0.6%	0.4%	0.9%
どちらかといえば満足	15.9%	16.3%	15.4%
どちらかといえば不満足	59.1%	56.7%	61.5%
全く不満足	23.8%	26.5%	20.9%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.6%	0.0%	1.3%

問2 あなたは、国の政治の課題として、次に挙げた項目の中では、どれが最も重要だと思いますか	全体	男性	女性
景気・雇用	38.4%	43.3%	33.3%
行政・財政	28.0%	27.8%	28.2%
教育	12.7%	10.2%	15.4%
福祉・医療	10.4%	9.4%	11.5%
安全保障・外交	10.0%	8.6%	11.5%
その他	0.4%	0.8%	0.0%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%

問3 あなたは、小泉内閣を支持しますか	全体	男性	女性
支持する	40.3%	38.8%	41.9%
支持しない	59.5%	60.8%	58.1%
なんともいえない	0.2%	0.4%	0.0%

問4 支持する理由は何ですか（2つ以内）	全体	男性	女性
ほかに適当な人がいないから	71.0%	68.4%	73.5%
首相の政治姿勢が好ましいから	28.5%	28.4%	28.6%
小泉純一郎さんが首相だから	23.8%	24.2%	23.5%
自民党中心の内閣だから	20.7%	21.1%	20.4%
自民党・公明党の連立内閣だから	19.2%	22.1%	16.3%
政策に期待できるから	16.6%	16.8%	16.3%
その他	4.1%	4.2%	4.1%
なんとなく・特に理由はない	0.0%	0.0%	0.0%

問5 支持しない理由は何ですか（2つ以内）	全体	男性	女性
政策に期待できないから	71.6%	69.1%	74.3%
首相の政治姿勢が好ましくないから	67.7%	70.5%	64.7%
自民党・公明党の	19.6%	22.1%	16.9%

連立内閣だから	全体	男性	女性
自民党中心の内閣だから	16.8%	18.8%	14.7%
小泉純一郎さんが首相だから	8.8%	8.1%	9.6%
ほかに適当な人がいるから	3.9%	3.4%	4.4%
その他	1.4%	0.7%	2.2%
なんとなく・特に理由はない	0.4%	0.0%	0.7%
不明	0.4%	0.0%	0.7%

問6-A 福祉・年金改革	全体	男性	女性
評価する	21.1%	22.0%	20.1%
評価しない	76.8%	76.3%	77.4%
なんともいえない・わからない	0.4%	0.0%	0.9%
不明	1.7%	1.6%	1.7%

問6-B 郵政事業の民営化	全体	男性	女性
評価する	51.1%	51.0%	51.3%
評価しない	46.8%	46.9%	46.6%
なんともいえない・わからない	0.2%	0.0%	0.4%
不明	1.9%	2.0%	1.7%

問6-C 日本国憲法見直し	全体	男性	女性
評価する	47.8%	50.6%	44.9%
評価しない	50.1%	48.2%	52.1%
なんともいえない・わからない	0.6%	0.0%	1.3%
不明	1.5%	1.2%	1.7%

問6-D 自衛隊のイラク派遣	全体	男性	女性
評価する	34.4%	38.8%	29.9%
評価しない	63.7%	59.2%	68.4%
なんともいえない・わからない	0.4%	0.4%	0.4%
不明	1.5%	1.6%	1.3%

問6-E 北朝鮮との問題処理	全体	男性	女性
評価する	29.4%	27.3%	31.6%
評価しない	68.1%	70.6%	65.4%
なんともいえない・わからない	1.0%	0.4%	1.7%
不明	1.5%	1.6%	1.3%

問 7-A 郵政事業の民営化	全体	男性	女性
果たしている	32.4%	34.3%	30.3%
果たしていない	66.4%	64.5%	68.4%
なんともいえない・	0.4%	0.4%	0.4%
わからない			
不明	0.8%	0.8%	0.9%

問 7-B 自衛隊のイラク派遣延長	全体	男性	女性
果たしている	28.0%	29.8%	26.1%
果たしていない	70.4%	67.8%	73.1%
なんともいえない・	0.6%	0.8%	0.4%
わからない			
不明	1.0%	1.6%	0.4%

問 7-C 政治資金問題	全体	男性	女性
果たしている	10.0%	8.2%	12.0%
果たしていない	88.1%	89.8%	86.3%
なんともいえない・	0.4%	0.4%	0.4%
わからない			
不明	1.5%	1.6%	1.3%

問 7-D 北朝鮮との問題処理	全体	男性	女性
果たしている	21.5%	21.2%	21.8%
果たしていない	77.2%	77.1%	77.4%
なんともいえない・	0.2%	0.0%	0.4%
わからない			
不明	1.0%	1.6%	0.4%

問 8 あなたは、小泉純一郎首相には自民党総裁の任期いっぱい(来年秋)首相を続けてほしいと思いますか	全体	男性	女性
続けてほしい	46.1%	42.9%	49.6%
続けてほしくない	53.2%	56.7%	49.6%
なんともいえない・	0.2%	0.0%	0.4%
わからない			
不明	0.4%	0.4%	0.4%

問 9 あなたは現在、日本の首相にはどのような能力、資質が一番必要だと思いますか	全体	男性	女性
国民への説明能力	32.2%	31.4%	32.9%
リーダーシップ	26.5%	29.8%	23.1%
政策立案能力	18.4%	18.8%	17.9%
庶民感覚	9.4%	8.6%	10.3%
バランス感覚	7.3%	5.7%	9.0%
清潔さ	2.5%	1.2%	3.8%
人柄	1.9%	2.9%	0.9%
その他	0.6%	0.4%	0.9%
特にない	0.8%	0.8%	0.9%
なんともいえない・	0.2%	0.4%	0.0%
わからない			
不明	0.2%	0.0%	0.4%

問 10 あなたは、どの政党を支持しますか	全体	男性	女性
自民党	25.5%	25.3%	25.6%
民主党	21.9%	27.8%	15.8%
公明党	5.0%	5.7%	4.3%
共産党	3.1%	2.4%	3.8%
社民党	1.0%	2.0%	0.0%
その他の政党	0.2%	0.0%	0.4%
支持する政党はない	42.4%	35.5%	49.6%
答えたくない	0.4%	0.8%	0.0%
不明	0.4%	0.4%	0.4%

問 11 あなたは、支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか(2つ以内)	全体	男性	女性
政策の現実性	35.7%	38.1%	32.5%
安定感・頼りがい	26.5%	27.7%	24.8%
長期的な視点	24.3%	21.9%	27.4%
主義主張の一貫性	18.8%	18.7%	18.8%
日本国憲法への姿勢	17.6%	18.1%	17.1%
党首の魅力	16.9%	15.5%	18.8%
革新的な姿勢	15.8%	16.8%	14.5%
清潔なイメージ	11.0%	11.0%	11.1%
中道的な姿勢	10.3%	13.5%	6.0%
開かれた党運営	10.3%	9.7%	11.1%
保守的な姿勢	4.4%	3.9%	5.1%
その他	1.5%	0.6%	2.6%
なんとなく	0.0%	0.0%	0.0%

問 12 あなたが、どちらかといえば親しみを感じたり、場合によっては支持・投票したい政党はありますか	全体	男性	女性
民主党	36.9%	43.7%	31.9%
自民党	7.4%	9.2%	6.0%
社民党	5.4%	6.9%	4.3%
共産党	4.9%	1.1%	7.8%
公明党	2.0%	2.3%	1.7%
その他の政党	0.5%	0.0%	0.9%
そのような政党はない	41.9%	35.6%	46.6%
答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	1.0%	1.1%	0.9%

問 13 あなたは「支持なし（無党派）層」についてどのようにお考えですか（2つ以内）

	全体	男性	女性
政治・政党への不満、不信の現われ	62.0%	61.2%	62.8%
政治に対して無関心、無責任	34.4%	35.1%	33.8%
政党の努力次第で減っていく	32.6%	33.9%	31.2%
政治家個人中心の選挙が背景にある	18.6%	20.4%	16.7%
自由に1票を行使している	13.2%	13.1%	13.2%
棄権が多く投票率を下げの一因	11.3%	9.4%	13.2%
政治を不安定にさせている	10.4%	9.0%	12.0%
政治に関心の高い人が多い	6.5%	7.3%	5.6%
選挙での波乱要素になっている	2.9%	3.7%	2.1%
その他	0.6%	1.2%	0.0%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.8%	0.8%	0.9%

問 14 あなたは、およそ1年前の支持政党（「支持なしを含む」）を変えましたか

	全体	男性	女性
変えた	13.8%	11.4%	16.2%
変えていない	74.5%	80.0%	68.8%
はっきりしない	11.7%	8.6%	15.0%

問 15 変わる前の支持政党はどうでしたか

	全体	男性	女性
自民党	37.9%	35.7%	39.5%
民主党	30.3%	35.7%	26.3%
共産党	7.6%	3.6%	10.5%
社民党	7.6%	10.7%	5.3%
公明党	3.0%	7.1%	0.0%
その他の政党	0.0%	0.0%	0.0%
支持する政党はなかった	12.1%	7.1%	15.8%
答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	1.5%	0.0%	2.6%

問 16 支持政党を変えたのは、どのようなことが主な理由になりましたか

	全体	男性	女性
政党への期待感・イメージ	33.3%	50.0%	21.1%
政治全体の動きに対する評価	24.2%	25.0%	23.7%
党首への信頼感・指導力	21.2%	14.3%	26.3%
政策の内容・実現性	13.6%	10.7%	15.8%
その他	3.0%	0.0%	5.3%
なんとなく・特に理由はない	3.0%	0.0%	5.3%
不明	1.5%	0.0%	2.6%

問 17 あなたは、この5年間くらいで、支持政党（「支持なし」を含めて）をどの程度変えていますか

	全体	男性	女性
ほとんど変えていない（0～1回）	76.2%	78.0%	74.4%
どちらかといえば変更は少ない（2～3回）	22.5%	21.6%	23.5%
かなり変えている（4回以上）	1.3%	0.4%	2.1%
なんともいえない・覚えていない	0.0%	0.0%	0.0%

問 18 もし今、衆院選が行われるとしたら、あなたはどの政党に議席を伸ばしてほしいですか

	全体	男性	女性
民主党	45.3%	50.2%	40.2%
自民党	23.0%	22.4%	23.5%
共産党	6.5%	4.5%	8.5%
公明党	5.4%	5.7%	5.1%
社民党	4.2%	6.1%	2.1%
その他の政党	0.4%	0.0%	0.9%
伸ばしてほしい政党はない	15.2%	11.0%	19.7%

問 19 あなたは、自民党中心の政権が続くのがよいと思いますか、それとも民主党中心の政権に変わるのがよいと思いますか

	全体	男性	女性
民主党中心がよい	38.0%	45.3%	30.3%
自民党中心がよい	27.6%	29.4%	25.6%
どちらもよくない	33.6%	24.1%	43.6%
なんともいえない・わからない	0.4%	0.8%	0.0%
不明	0.4%	0.4%	0.4%

問 20 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれたり、新しい協力関係をつくったりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか

	全体	男性	女性
期待する	55.9%	62.9%	48.7%
期待しない	43.6%	36.7%	50.9%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0.4%	0.4%	0.4%

問 21-A 消費税の引き上げ

	全体	男性	女性
必要だと思う	30.5%	35.5%	25.2%
必要ではないと思う	67.4%	62.0%	73.1%
なんともいえない・わからない	0.4%	0.0%	0.9%
不明	1.7%	2.4%	0.9%

問 21-B 北朝鮮に対する経済制裁

	全体	男性	女性
必要だと思う	81.4%	81.2%	81.6%
必要ではないと思う	16.3%	16.3%	16.2%
なんともいえない・わからない	0.4%	0.0%	0.9%
不明	1.9%	2.4%	1.3%

問 21-C 性犯罪など前歴者情報の提供

	全体	男性	女性
必要だと思う	88.9%	85.3%	92.7%
必要ではないと思う	9.4%	12.7%	6.0%
なんともいえない・	0.0%	0.0%	0.0%
わからない			
不明	1.7%	2.0%	1.3%

問 21-D 「ゆとり教育」の見直し

	全体	男性	女性
必要だと思う	86.2%	84.5%	88.0%
必要ではないと思う	12.1%	13.1%	11.1%
なんともいえない・	0.2%	0.0%	0.4%
わからない			
不明	1.5%	2.4%	0.4%

問 21-E 女性の天皇継承

	全体	男性	女性
必要だと思う	87.5%	82.9%	92.3%
必要ではないと思う	10.4%	15.1%	5.6%
なんともいえない・	0.6%	0.4%	0.9%
わからない			
不明	1.5%	1.6%	1.3%

問 22 あなたは、日本の将来を考えると、特に心配したり、不安に思うことがありますか(5つ以内)

	全体	男性	女性
犯罪の増加	50.1%	40.0%	60.7%
ふくれる財政赤字	46.3%	46.5%	46.2%
社会保障・福祉の	41.3%	44.9%	37.6%
水準低下			
景気の行方	38.8%	42.9%	34.6%
高齢化と少子化	38.2%	37.1%	39.3%
国の安全保障	35.3%	32.2%	38.5%
青少年の教育・育成	34.7%	33.5%	35.9%
地球環境・自然破壊	31.9%	27.3%	36.8%
官僚依存型の社会の	31.7%	32.7%	30.8%
体質			
雇用の不安	31.7%	31.8%	31.6%
経済の国際競争力の	27.6%	34.7%	20.1%
低下			
モラルの低下	27.1%	29.4%	24.8%
政治の不安定・不信	26.9%	24.9%	29.1%
進まない行政改革	20.3%	22.4%	17.9%
エネルギー不安	7.7%	8.6%	6.8%
食糧危機	6.1%	7.3%	4.7%
特にない・	0.0%	0.0%	0.0%
わからない			

質問票

モニターの質問票には無い選択肢

問1 あなたは、今の政治に満足していますか。

- 大いに満足
どちらかといえば満足
どちらかといえば満足
どちらかといえば不満足
全く不満足
なんともいえない・わからない

問2 あなたは、国の政治の課題として、次に挙げた項目の中では、どれが最も重要だと思いますか。

- 教育
行政・財政
福祉・医療
景気・雇用
安全保障・外交
その他()
なんともいえない・わからない

問3 あなたは、小泉内閣を支持しますか。

- 支持する
支持しない
なんともいえない
問4、6へ
問5、6へ
問6へ

問4 (問3で「支持する」とお答えの方に)

- 支持する理由は何ですか。2つ以内で挙げてください。
自民党中心の内閣だから
自民党・公明党の
連立内閣だから
小泉純一郎さんが首相だから
首相の政治姿勢が好ましいから
政策に期待できるから
ほかに適当な人がいないから
その他()
なんとなく・特に理由はない

問5 (問3で「支持しない」とお答えの方に)

- 支持しない理由は何ですか。2つ以内で挙げてください。
自民党中心の内閣だから
自民党・公明党の
連立内閣だから
小泉純一郎さんが首相だから
首相の政治姿勢が好ましくないから
政策に期待できないから
ほかに適当な人がいるから
その他()
なんとなく・特に理由はない

問6 あなたは、小泉内閣が進めている内政・外交の課題の取り組みについて、どう受けとめていますか。該当する番号に お付けください。

		評価する	評価しない	なんともいえない
A	福祉・年金改革			
B	郵政事業の民営化			
C	日本国憲法見直し			
D	自衛隊のイラク派遣			
E	北朝鮮との問題処理			

問7 あなたは、小泉首相は内政・外交の課題の取り組みについて、説明責任を果たしていると思いますか。該当する番号に お付けください。

		果たしている	果たしていない	なんともいえない
A	郵政事業の民営化			
B	自衛隊のイラク派遣延長			
C	政治資金問題			
D	北朝鮮との問題処理			

問8 あなたは、小泉純一郎首相には自民党総裁の任期いっぱい(来年秋)首相を続けてほしいと思いますか。

- 続けてほしい
続けてほしくない
なんともいえない・わからない

問9 あなたは現在、日本の首相にはどのような能力、資質が一番必要だと思いますか。

清潔さ	国民への説明能力
政策立案能力	人柄
バランス感覚	その他()
リーダーシップ	特にない
庶民感覚	なんともいえない・わからない

問10 あなたは、どの政党を支持しますか。

自民党	共産党
民主党	社民党
公明党	その他の政党()

支持する政党はない
 答えたくない

問11、13へ
 問12、13へ

問11 (問10で ~ とお答えの方に)

あなたは、支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか。
 次の中から2つ以内で挙げてください。

安定感・頼りがい	革新的な姿勢	日本国憲法への姿勢
主義主張の一貫性	中道的な姿勢	清潔なイメージ
政策の現実性	党首の魅力	長期的な視点
保守的な姿勢	開かれた党運営	その他()
		なんとなく

問12 (問10で「支持する政党はない」とお答えの方に)

あなたが、どちらかといえば親しみを感じたり、場合によっては支持・投票したい政党はありますか。

自民党	社民党
民主党	その他の政党()
公明党	そのような政党はない
共産党	答えたくない

(全員の方に)

問13 あなたは「支持政党なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか。

次の中から2つ以内で挙げてください。

政治を不安定にさせている	選挙での波乱要素になっている
自由に1票を行使している	政党の努力しだいで減っていく
政治に対して無関心、無責任	政治家個人中心の選挙が背景にある
政治に関心の高い人が多い	棄権が多く投票率を下げる一因
政治・政党への不満、不信の現われ	その他()
	なんともいえない・わからない

問14 あなたは、およそ1年前の支持政党(「支持なし」を含む)を変えましたか。

変えた	問15、16、17へ
変えていない	問17へ
はっきりしない	問17へ

問15 (問14で「変えた」とお答えの方に)

変わる前の支持政党はどうでしたか。

自民党	共産党	支持する政党はなかった
民主党	社民党	答えたくない
公明党	その他の政党()	

問16 (問14で「変えた」とお答えの方に)

政党支持を変えたのは、どのようなことが主な理由になりましたか。

政策の内容・実現性	政治全体の動きに対する評価
党首への信頼感・指導力	その他()
政党への期待感・イメージ	なんとなく・特に理由はない

(全員の方に)

問17 あなたは、この5年間くらいで、政党支持(「支持なし」を含めて)をどの程度変えていますか。以前と同じ政党支持に戻った分も回数に加えてください。
 ほとんど変えていない(0~1回)
 どちらかといえば変更は少ない(2~3回)
 かなり変えている(4回以上)
 なんともいえない・覚えていない

問18 もし今、衆院選が行われるとしたら、あなたはどの政党に議席を伸ばしてほしいですか。
 自民党 共産党
 民主党 社民党
 公明党 その他の政党()
 伸ばしてほしい政党はない

問19 あなたは、自民党中心の政権が続くのがよいと思いますか、それとも民主党中心の政権に変わるのがよいと思いますか。
 自民党中心がよい どちらもよくない
 民主党中心がよい なんともいえない・わからない

問20 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれたり、新しい協力関係をつくったりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか。
 期待する 期待しない なんともいえない・わからない

問21 今後の国政の課題について、あなたはどのように思いますか。
 該当する番号に をお付けください。

		必要だと思う	必要ではないと思う	なんともいえない・わからない
A	消費税の引き上げ			
B	北朝鮮に対する経済制裁			
C	性犯罪など前歴者情報の提供			
D	「ゆとり教育」の見直し			

問22 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配したり、不安に思うことがありますか。次の中から5つ以内でお答えください。
 経済の国際競争力の低下 景気の行方
 国の安全保障 エネルギー不安
 社会保障・福祉の水準低下 青少年の教育・育成
 政治の不安定・不信 高齢化と少子化
 ふくれる財政赤字 地球環境・自然破壊
 進まない行政改革 モラルの低下
 官僚依存型の社会の体質 食糧危機
 雇用の不安 犯罪の増加
 特にない・わからない

【フェイスシート】

< 性別 > 男性 女性

< 年代 > 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

< 職業 > 農・林・漁業 商工自営
 事務・技術職 主婦
 現業労働 無職
 サービス業 その他(具体的に)
 役員・管理職・自由業

< 地域 > 北信 東信 中信 南信

< 選挙区 > 1区 2区 3区 4区 5区

< 結婚 > 既婚 未婚